冬になり雪が降ってＡとＢは二人とも手袋をはめて雪だるまを造っていた。

Ｂは手袋をはめた手を祖母に指し示し、去年もらった手袋を今年もはめていることを示した。Ａは Ｂの笑顔を眺め、その時心で動いたものは「Ｂに恩恵を施した」と「Ｂが喜んでいる」ということだけではなかった。

Ａはそれが何かを確かめようと考え、Ｂを見ていたところ、Ｂの笑顔はこわばった。

Ｂは「屋根に上ろうよ」とＡを誘って、気まずい感じから避けた。

Ｂは屋根から落ち、Ｂが大丈夫だったことにＡは安堵し、愉快さがＡに伝わった。

飛び込み台からダイビングするようなこっけいな恰好をＡは連想し、暖かい友情を抱いた。

ＡとＢは心のそこから笑いあった。